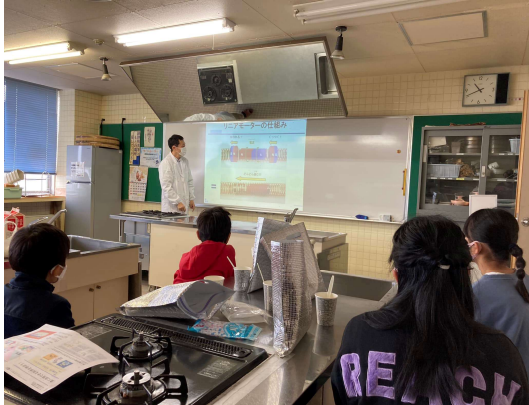



## 事業実績報告書

様式 2  
(2021年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-59	講座名	「食×国際交流」！世界の料理で環境を学ぼう♪
記載日	2022/3/27	団体名・企業名	ノートルモンド名古屋
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>第3回については、新型コロナウイルスまん延による緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置などのため、開催できず中止いたしました。第1回では、名古屋大学理学研究科物理学専攻・出口和彦先生をお迎えし、食に活用できる科学や環境への影響を物理学の視点からわかりやすく教えていただきました。第2回では、防災をテーマに身近な防災と環境について、防災ママかきつばたの代表を務める高木一恵さん、名古屋工業大学大学院博士課程在学中のアフガニスタン出身でイランで学生時代を過ごした留学生のネイマットさんをお迎えしオンライン（Zoom）で開催しました。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
11/21第1回「食に活用できる科学を学び環境について考えよう」の講座風景		2/20第2回「身近な防災と環境について考えてみよう」のオンライン講座の様子	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>代表者自身が持つ様々な食に関する資格と経験、国際留学生会館イベントボランティアをはじめとする国際交流、長年取り組んできた育児支援団体での企画運営力、そしてフランスに家族と暮らした経験を生かして、「食と国際文化と子ども」をテーマとする交流のコミュニティを2015年11月1日に立ち上げました。第1回では、名古屋大学理学研究科・出口和彦先生をお迎えし、食に活用できる科学や環境への影響を物理学の視点からわかりやすく教えていただきました。第2回では、防災をテーマに身近な防災と環境について、防災ママかきつばたの代表・高木一恵さん、名古屋工業大学大学院博士課程在学中のアフガニスタン出身でイランで学生時代を過ごした留学生のネイマットさんをお迎えし現地の方について教えていただき、防災士である出口志穂が参加者との交流をしながら防災についての情報や取り組むコツを伝えました。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<p>・オンラインなのでコロナ禍でも安心して参加できた。 ・行政で防災に携わっているが、外国の事例はほとんど聞かないので、大変勉強になった。 ・アフガニスタンやイランのことを全然知らなかったなので、すべてが勉強になり、環境の違いを知ることができてよかった。 ・大学の先生から直接物理について教えてもらえてよかった。 ・出口先生の白衣がカッコよかった。</p>			